

平成23年2月期 第1四半期決算短信

平成22年7月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 チヨダ

コード番号 8185 URL <http://www.chiyodagrp.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 舟橋 政男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 成田 裕

TEL 03-3316-4134

四半期報告書提出予定日 平成22年7月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第1四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第1四半期	42,026	△7.2	1,456	△41.3	1,644	△37.3	427	△54.6
22年2月期第1四半期	45,269	—	2,481	—	2,621	—	941	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第1四半期	10.76	—
22年2月期第1四半期	23.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第1四半期	129,178	70,924	50.5	1,642.73
22年2月期	130,583	73,109	51.5	1,691.68

(参考) 自己資本 23年2月期第1四半期 65,252百万円 22年2月期 67,197百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	20.00	—	60.00	80.00
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	83,788	△1.5	3,138	37.6	3,460	34.7	839	119.2	22.25
連結累計期間	164,041	△1.5	4,769	39.8	5,375	33.2	1,191	—	29.98

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他
- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 23年2月期第1四半期 | 41,609,996株 | 22年2月期 | 41,609,996株 |
| ② 期末自己株式数 | 23年2月期第1四半期 | 1,887,819株 | 22年2月期 | 1,887,347株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 23年2月期第1四半期 | 39,722,448株 | 22年2月期第1四半期 | 39,723,867株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想と異なる可能性があります。
 なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の我が国経済は、日銀の短観によると外需を中心とする大手企業において企業収益、設備投資の緩やかな改善傾向が見られるものの、大手企業以外においては改善傾向が見られず内需の自律的な回復力はいまだ乏しい状況が続いております。また物価は緩やかなデフレが続き、企業は物が売れても収益を上げづらい状態が続きました。

このような状況は、個人消費の動向と連動する小売業にとっては極めて厳しい経済環境と言わざるを得ず、当社グループにおきましても厳しい売上状況が続きました。その上3月から4月の異常な低温傾向の影響を受け、衣料品部門、靴部門ともに春物商品及び初夏物商品の販売が極端に振るわず大幅な減収となりました。

収益面におきましては、当社グループは、従来から進めてまいりましたPB（プライベートブランド）及びNPB（ナショナルプライベートブランド）戦略の推進による粗利益率の向上、販管費の抑制、慎重な出店戦略の推進、不採算店のリストラなどに取り組んでまいりましたが、大幅な既存店売上上の減収を補うことが出来ず、大幅減益を余儀なくされました。

当第1四半期連結会計期間の出退店は、出店39店、退店18店を実施し、当第1四半期連結会計期間末店舗数は、靴部門1,213店（前年同期比9店増）、衣料品部門542店（同26店減）の合計1,755店（同17店減）となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高42,026百万円（前年同期比7.2%減）、営業利益1,456百万円（同41.3%減）、経常利益1,644百万円（同37.3%減）、四半期純利益427百万円（同54.6%減）となりました。

事業部門別の業績の概要は次のとおりであります。

<靴部門>

当第1四半期連結会計期間における靴部門の売上は、3月から4月の天候不順による春物商品及び初夏物商品の販売低迷による客数の低下及び消費者の低単価志向の影響による商品単価の下落の影響を受け、既存店売上が想定を下回る状況で推移いたしました。

商品面におきましては、有名タレントを起用した紳士靴の中級価格PB「ハイドロテックブラックコレクション」が好調だったほか、スニーカーのNPB「ショーン・パーマー」「オーシャンパシフィック」等が好調に推移いたしました。また、低単価商品の粗利益の構造改革として取り組んだ「990プロジェクト」が大きくテレビや雑誌に取り上げられ話題を呼びました。また、トラッドシューズからスニーカーまで多彩なラインナップを誇る「セダークレスト」の新たな試みとして、カリスマ読者モデルの鈴木姉妹をイメージキャラクターとした「セダークレスト・オレンジスター」や、男性用として水洗いできる清潔トラッド「セダークレスト・ウォッシュャブル」を発売し好評を得ました。この結果、PB及びNPB等のシェアは前年同期と比較して6ポイント増の約28%と飛躍的に増加いたしました。

しかしながら粗利益率は、プロパー商品の不振に加え、低粗利である特価商品の売上構成比が増加したことにより、前年同期と比較して1.2ポイント低下し44.0%となりました。経費面では、賃料交渉等を進めた結果、家賃地代は減少したものの、退職給付費用等の影響で計画より若干の増加となりました。この結果、当第1四半期連結会計期間の靴部門の営業利益は、前年同期と比較して大幅な減益となりました。

当第1四半期連結会計期間の出退店は、シュープラザ、東京靴流通センターを中心として出店32店、退店11店を実施し、当第1四半期連結会計期間末店舗数は1,213店（前年同期比9店増）となりました。

この結果、売上高は31,362百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

<衣料品部門>

当第1四半期連結会計期間における衣料品部門の売上高は、3月から4月の天候の不順による春物商品及び初夏物商品の低迷により客数・客単価ともに伸び悩み、既存店売上、全店売上ともに二桁減収で推移いたしました。

商品面におきましては「セダークレスト」のアパレルを新展開するとともに、PB商品「ラッシュアワー」においてファッション雑誌とのタイアップ企画によるプロモーション活動を行うなどの施策を実施いたしました。また全般的にキッズ商品が比較的堅調に推移した一方で、主力となるメンズ及びレディースのジーンズやカットソーが不振となりました。

粗利益率は前年同期を維持したものの、大幅な売上の減収が影響し粗利益高は大きく下落いたしました。経費面では、新規出店の抑制、不採算店舗の閉店に加えコスト全般の戦略的なコントロールに注力いたしましたが、売上総利益高の減少を補うに至らず営業損失となりました。

当第1四半期連結会計期間の出退店は、7店を新規に出店し、7店の退店を行い当第1四半期連結会計期間末店舗数は542店（前年同期比26店減）となりました。その結果、売上高は10,663百万円（同16.8%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の分析

（資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末における当社グループの総資産は、129,178百万円（前連結会計年度末比1,404百万円減）となりました。

流動資産は、76,138百万円（前連結会計年度末比594百万円減）となっております。これは、主として現金及び預金が34,864百万円（前連結会計年度末比3,946百万円減）となったこと及び商品が35,504百万円（同2,420百万円増）となったことによるものであります。

固定資産は、53,040百万円（前連結会計年度末比809百万円減）となっております。これは、主として敷金及び保証金が23,493百万円（前連結会計年度末比217百万円減）、長期預金が1,500百万円（同500百万円減）となったことによるものであります。

（負債の状況）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、58,254百万円（前連結会計年度末比779百万円増）となりました。

流動負債は、43,999百万円（前連結会計年度末比302百万円増）となっております。これは、主として支払手形及び買掛金が31,087百万円（前連結会計年度末比407百万円増）となったこと、ファクタリング債務が3,468百万円（同1,014百万円減）となったこと及び賞与引当金が960百万円（同324百万円増）となったことによるものであります。

固定負債は、14,254百万円（前連結会計年度末比477百万円増）となっております。これは、主として長期借入金が2,587百万円（前連結会計年度末比156百万円増）となったこと、長期リース資産減損勘定が1,142百万円（同194百万円増）となったことによるものであります。

（純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、70,924百万円（前連結会計年度末比2,184百万円減）となりました。これは、主として利益剰余金が53,672百万円（前連結会計年度末比1,955百万円減）となったことによるものであります。自己資本比率は50.5%（前連結会計年度末比1.0ポイント減）となっております。

キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果減少した資金は1,957百万円（前年同期比27.4%減）となりました。

これは主に「税金等調整前四半期純利益」1,014百万円、「減価償却費」368百万円、「減損損失」523百万円、「未払費用の増加額」542百万円等の増加と、「売上債権の増加額」1,136百万円、「たな卸資産の増加額」2,421百万円等の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果増加した資金は50百万円（前年同期は4,184百万円の減少）となりました。

これは主に「有形固定資産の取得による支出」421百万円、「敷金及び保証金の差入による支出」149百万円等の支出と、「定期預金の払戻による収入」413百万円、「敷金及び保証金の回収による収入」294百万円等の収入によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は2,185百万円（前年同期比211.7%増）となりました。

これは主に「長期借入れによる収入」500百万円の収入と、「配当金の支払額」2,272百万円等の支出によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の「現金及び現金同等物の四半期末残高」は32,840百万円（前連結会計年度末比4,092百万円減）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年2月期の連結業績予想につきましては、前回公表（平成22年4月9日付）いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,864	38,810
受取手形及び売掛金	3,269	2,133
商品	35,504	33,083
繰延税金資産	660	680
その他	1,856	2,043
貸倒引当金	△16	△17
流動資産合計	76,138	76,733
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,573	5,506
機械装置及び運搬具(純額)	4	5
工具、器具及び備品(純額)	641	645
土地	3,395	3,395
リース資産(純額)	663	521
その他	29	46
有形固定資産合計	10,308	10,120
無形固定資産		
その他	4,087	4,166
無形固定資産合計	4,087	4,166
投資その他の資産		
投資有価証券	9,243	9,225
長期預金	1,500	2,000
敷金及び保証金	23,493	23,710
繰延税金資産	3,384	3,394
その他	1,237	1,440
貸倒引当金	△215	△207
投資その他の資産合計	38,643	39,562
固定資産合計	53,040	53,849
資産合計	129,178	130,583

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,087	30,680
ファクタリング債務	3,468	4,482
短期借入金	790	840
1年内返済予定の長期借入金	1,046	942
リース債務	152	118
未払法人税等	791	1,015
未払消費税等	284	171
賞与引当金	960	635
店舗閉鎖損失引当金	279	292
リース資産減損勘定	477	491
その他	4,661	4,027
流動負債合計	43,999	43,696
固定負債		
長期借入金	2,587	2,431
リース債務	513	405
退職給付引当金	7,546	7,631
役員退職慰労引当金	599	591
転貸損失引当金	514	525
長期預り保証金	865	812
長期リース資産減損勘定	1,142	948
負ののれん	66	70
その他	418	359
固定負債合計	14,254	13,777
負債合計	58,254	57,474
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,893	6,893
資本剰余金	7,489	7,489
利益剰余金	53,672	55,628
自己株式	△3,025	△3,024
株主資本合計	65,029	66,986
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	222	211
評価・換算差額等合計	222	211
少数株主持分	5,672	5,911
純資産合計	70,924	73,109
負債純資産合計	129,178	130,583

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
売上高	45,269	42,026
売上原価	24,481	22,948
売上総利益	20,788	19,077
販売費及び一般管理費	18,306	17,621
営業利益	2,481	1,456
営業外収益		
受取利息	30	31
受取配当金	6	6
受取家賃	343	324
受取手数料	117	122
その他	70	53
営業外収益合計	568	537
営業外費用		
支払利息	18	18
不動産賃貸費用	331	292
転貸損失引当金繰入額	74	35
その他	3	3
営業外費用合計	428	349
経常利益	2,621	1,644
特別利益		
固定資産売却益	—	0
貸倒引当金戻入額	14	—
転貸損失引当金戻入額	17	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	9
違約金収入	71	—
特別利益合計	103	10
特別損失		
固定資産除却損	14	33
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	0	—
減損損失	597	523
店舗閉鎖損失	22	8
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	64
リース解約損	—	10
特別損失合計	634	640
税金等調整前四半期純利益	2,090	1,014
法人税、住民税及び事業税	312	742
法人税等調整額	851	21
法人税等合計	1,164	763
少数株主損失(△)	△15	△176
四半期純利益	941	427

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,090	1,014
減価償却費	373	368
減損損失	597	523
貸借料との相殺による保証金返還額	286	268
のれん償却額	31	—
固定資産売却損益 (△は益)	—	△0
固定資産除却損	14	33
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	0
投資有価証券評価損益 (△は益)	0	—
店舗閉鎖損失	22	8
違約金収入	△71	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△15	6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	524	324
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	98	△85
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6	7
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	22	△10
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△12
受取利息及び受取配当金	△37	△37
支払利息	18	18
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,023	△1,136
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,357	△2,421
仕入債務の増減額 (△は減少)	△237	△602
未払費用の増減額 (△は減少)	—	542
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△22	112
その他	1,050	△3
小計	△1,628	△1,080
利息及び配当金の受取額	14	14
利息の支払額	△18	△20
法人税等の支払額	△1,083	△871
法人税等の還付額	20	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,695	△1,957

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△411	△60
定期預金の払戻による収入	432	413
有形固定資産の取得による支出	△589	△421
有形固定資産の売却による収入	—	0
有形固定資産の除却による支出	△21	△23
無形固定資産の取得による支出	△3,291	△2
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却及び償還による収入	4	0
敷金及び保証金の差入による支出	△417	△149
敷金及び保証金の回収による収入	536	294
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△432	—
その他	6	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,184	50
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	659	△50
長期借入れによる収入	—	500
長期借入金の返済による支出	△406	△239
割賦債務の返済による支出	—	△20
リース債務の返済による支出	—	△39
自己株式の取得による支出	△1	△0
子会社の自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△775	△2,272
少数株主への配当金の支払額	△127	△62
その他	△50	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△701	△2,185
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,581	△4,092
現金及び現金同等物の期首残高	39,402	36,932
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,821	32,840

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)

当社及び連結子会社は、その取扱い商品の種類、性質、販売市場等の類似性から判断して、同種の服飾関連事業(靴、衣料品等)及び補完的事業を営んでいるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)

当社及び連結子会社は、その取扱い商品の種類、性質、販売市場等の類似性から判断して、同種の服飾関連事業(靴、衣料品等)及び補完的事業を営んでいるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)

当社及び連結子会社は、すべて国内に所在しているため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)

当社及び連結子会社は、すべて国内に所在しているため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

平成23年2月期第1四半期の個別業績(平成22年3月1日～平成22年5月31日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第1四半期	30,477	△3.2	1,341	△42.7	1,587	△40.7	690	△21.0
22年2月期第1四半期	31,470	—	2,338	—	2,678	—	874	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年2月期第1四半期	17	38	—	—
22年2月期第1四半期	22	00	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年2月期第1四半期	95,970		57,380		59.8	1,444	54	
22年2月期第1四半期	97,147		59,944		61.7	1,509	65	

(注) 四半期個別財務諸表は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。